

第6章 汎用データの受入・作成 (ご利用いただいている場合)

以下の説明は、汎用データを受け入れている、または作成している場合の対応です。

※汎用データを作成している場合は、P.28 からご確認ください。

以下のデータの受入・作成をしている場合にご確認ください。

受入データ・作成データ	対象オプション
債権伝票・債務伝票・即時支払伝票データ	債権債務 支払
回収種別が「値引き」の入金情報データ	債権 入金
定型支払・定型回収データ	資金

税率の受け入れ……………P.25

受入項目・作成項目の追加・削除と受入記号……………P.28

税率の受け入れ

税率に関する設定として、以下の2つの項目が機能追加されます。

伝票日付が2019年10月1日以後の場合に、新税率で受け入れできます。

- ・「税率」項目が新税率に対応します。
- ・「税率種別」項目が追加され、軽減税率品目（8%）の取引を受け入れる機能が搭載されます。

お客様が受け入れる取引にあわせて、汎用データの「税率」項目、「税率種別」項目を変更します。

※「税率区分コード」を利用している場合は、P.30 参照

■「税率」項目

●新税率10%・軽減税率品目8%の取引を受け入れる場合

○今まで「税率」項目を利用していない場合

今までの受入形式のまま、変更は必要ありません。

○すでに「税率」項目を利用している場合

施行日（2019年10月1日）以後、取引内容に応じて値をセットします。

取引内容	税 率
新税率10%の取引	10
軽減税率8%の取引	8

●経過措置8%、5%の取引も受け入れる場合

▼ 受入形式

○すでに「税率」項目を利用している場合

今までの受入形式のまま、変更は必要ありません。

○今まで「税率」項目を利用していない場合

新たに「税率」の受入記号（受入項目）を追加します。

※『OBC 受入形式』の受入記号は、P.28 参照

※独自の受入形式は、条件設定画面の[形式作成] ボタンから項目を追加

▼ 値のセット

施行日（2019 年 10 月 1 日）以後、取引内容に応じて値をセットします。

取引内容	税 率
10%の取引	10
軽減税率 8 %の取引	8
経過措置 8 %、5 %の取引	8、5

■「税率種別」項目

● 軽減税率品目（8 %）の取引を受け入れない場合

今までの受入形式のまま、変更は必要ありません。

● 軽減税率品目（8 %）の取引を受け入れる場合

○補助科目（勘定科目）の「税率種別」の設定にしたがう場合

※「税率種別」の設定にしたがうケース等の詳細は、『勘定奉行』の

「消費税 10%・軽減税率対応 運用ガイド」の P. 8 参照

今までの受入形式のまま、変更は必要ありません。

○取引ごとに、汎用データ上で直接「税率種別」を設定する場合

▼ 受入形式

新たに「税率種別」の受入記号（受入項目）を追加します。

※『OBC 受入形式』の受入記号は、P.28 参照

※独自の受入形式は、条件設定画面の [形式作成] ボタンから項目を追加

▼ 値のセット

施行日（2019 年 10 月 1 日）以後、取引内容に応じて値をセットします。

取引内容	税率種別
新税率 10%の取引	0（標準）
軽減税率 8 %の取引	1（軽減）
経過措置 8 %、5 %の取引	0（標準）

【参考：税率と税率種別の設定】

伝票日付が 2019 年 10 月 1 日以後の場合、汎用データ上の「税率」と「税率種別」の値によって、以下のように受け入れられます。

汎用データ上の値		補助科目（勘定科目）登録 メニューの「税率種別」の設定	受入結果
税率	税率種別		
10	0（標準）	設定は考慮されません	⇒ 10%の取引
10	空白	設定は考慮されません	
空白	0（標準）	設定は考慮されません	
空白	空白	0（標準）	
8	1（軽減）	設定は考慮されません	⇒ 軽減税率 8 %の取引
8	空白	1（軽減）	
空白	1（軽減）	設定は考慮されません	
空白	空白	1（軽減）	
8、5	0（標準）	設定は考慮されません	⇒ 経過措置 8 %、5 %の取引
8、5	空白	0（標準）	

※ [補助科目（勘定科目）登録] メニューの「税率種別」が「1：軽減」に設定されていても、伝票日付が 2019 年 10 月 1 日より前の場合は「0：標準」で受け入れられます。

受入項目・作成項目の追加・削除と受入記号

<債権伝票データ>

債権

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	税率種別	CCJS317	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、勘定科目または補助科目の初期値が設定されます。
説明の変更	税率	CCJS314	空白データを受け入れた場合は、「税率種別」にしたがって新税率が設定されます。 整数2桁 小数1桁
項目の削除	税率区分コード	CCJS308	詳細は、P.30の【「税率区分コード」を利用のお客様の対応】をご参照ください。

<入金情報データ>

債権

入金

回収方法 (CDRI003) の回収種別が「5：値引」の場合に受け入れられる項目です。

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	税率種別	CDRI019	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、勘定科目または補助科目の初期値が設定されます。
説明の変更	税率	CDRI018	空白データを受け入れた場合は、「税率種別」にしたがって新税率が設定されます。 整数2桁 小数1桁

<債務伝票データ>

債務

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	税率種別	CDJS317	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、勘定科目または補助科目の初期値が設定されます。
説明の変更	税率	CDJS314	空白データを受け入れた場合は、「税率種別」にしたがって新税率が設定されます。 整数2桁 小数1桁
項目の削除	税率区分コード	CDJS308	詳細は、P.30の【「税率区分コード」を利用のお客様の対応】をご参照ください。

<即時支払伝票データ>

債務

支払

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	税率種別	CPIS043	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、勘定科目または補助科目の初期値が設定されます。
説明の変更	税率	CPIS037	空白データを受け入れた場合は、「税率種別」にしたがって新税率が設定されます。 整数2桁 小数1桁
項目の削除	税率区分コード	CPIS033	詳細は、P.30の【「税率区分コード」を利用のお客様の対応】をご参照ください。

<定型支払データ>

資金

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	税率種別	CASD023	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、勘定科目または補助科目の初期値が設定されます。
説明の変更	税率	CASD022	空白データを受け入れた場合は、「税率種別」にしたがって新税率が設定されます。 整数2桁 小数1桁

<定型回収データ>

資金

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	税率種別	CAPD023	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、勘定科目または補助科目の初期値が設定されます。
説明の変更	税率	CAPD022	空白データを受け入れた場合は、「税率種別」にしたがって新税率が設定されます。 整数2桁 小数1桁

「税率区分コード」を利用のお客様の対応

「税率区分コード」項目は、今まで当項目を利用しているお客様向けの下位互換用の項目です。

そのため、新税率 10%、軽減税率 8 %には対応していません。

※出力した場合は、空白が出力されます。

今後は代わりに「税率」項目を使用します。

汎用データ受入 P.30

汎用データ作成 P.32

汎用データ受入

『O B C 受入形式』で受け入れている場合

汎用データ上で、「税率区分コード」項目を削除して、「税率」項目を追加します。

【例】 8 %の場合

従来 ⇒ 「税率区分コード」項目に「3」を設定（3 : 8.0%）

今後 ⇒ 「税率」項目に「8」を設定

※ 「税率」項目に置き換えた後、P.25 「税率の受け入れ」をご確認ください。

■ 独自の受入データ形式で受け入れている場合

1 汎用データの変更

汎用データ上で「税率区分コード」項目を削除して、「税率」項目を追加します。

【例】 8 %の場合

従来 ⇒ 「税率区分コード」項目に「3」を設定 (3 : 8.0%)

今後 ⇒ 「税率」項目に「8」を設定

※「税率」項目に置き換えた後、P.25「税率の受け入れ」をご確認ください。

2 受入データ形式の関連付設定の変更

各伝票データ受入メニューで、「税率区分コード」項目を削除します。
代わりに、P.25「税率の受け入れ」での確認内容に応じて「税率」項目を追加します。

[形式作成] ボタンをクリックして、修正するパターンを選択します。

① [関連付設定] ページを開きます。

必須	項目名	列番号	データ
	消費税金額	13	9090
	消費税自動計算コード	14	2
	税区分コード	15	0010
	支払部門コード	16	001
	源泉区分コード	17	0
	摘要	18	9月分水道光熱費支払
	手数料負担コード	19	1
	振込区分コード	20	3
	手形郵送料区分コード	21	0
	税率種別コード	22	10
	税率	23	2
	端数処理コード	24	2
	付箋色コード	25	2
	付箋メモ	26	

② 「税率区分コード」項目を選択して、[関連解除] ボタンをクリックします。

③ 「税率」項目の列番号に、受入元データの「税率」項目の列番号を入力して、[Enter] キーを押します。

汎用データ作成

各伝票データ作成メニューで、各伝票データの出力項目から、「税率区分」項目を削除します。

代わりに「税率」項目を追加します。

The screenshot shows a software window titled '債務伝票データ作成 - 出力条件' (Debit Invoice Data Creation - Output Conditions). It has tabs for '基本設定' (Basic Settings), '詳細条件' (Detailed Conditions), and '摘要' (Summary). The '基本設定' tab is active, showing two main sections: '選択項目' (Selected Items) on the left and '選択済項目' (Already Selected Items) on the right. In the '選択項目' section, '税率' (Tax Rate) is selected. In the '選択済項目' section, '税率区分' (Tax Rate Classification) is selected. Between these sections are four buttons: '全選択(A)' (Select All), '選択(S)' (Select), '全削除(L)' (Delete All), and '削除(D)' (Delete). Four numbered red callouts provide instructions: ① points to the '項目選択' (Item Selection) button in the top right; ② points to the '削除(D)' button; ③ points to the '税率' item in the '選択項目' list; ④ points to a vertical list of icons (up, down, and double arrows) on the right side of the '選択済項目' list, used for reordering items.

① [項目選択] ページを選択します。

② 「税率区分」項目を選択して、
[削除] ボタンをクリックします。

③ 「税率」項目を選択して、
[選択] ボタンをクリックします。

④ 追加した項目の並び順を、
ここで変更します。